友愛
発行所
友愛青年連盟
東京都 文京区音羽1-7-1
電話 東京（941）2801
発行人　渡部文雄
編集人　田中恭一
定価1部　70円

ブロックキャンプ

各地で活発な議論

中部、近畿、東北で開催

今年度の運動の方向や事業の展開について協議し共通の認識を生み出し、また、各支部活動家の交流を目的にしたブロック・キャンプの開催がすすんでいる。中部・近畿ブロックが六月一九、二〇日に、つづいて東北ブロックが七月二、三日にそれぞれ開催され、両会場とも、活発な議論がかわされた。

中部・近畿ブロック

愛知県支部連合会（丹羽恵造会長）の手で準備がすすめられ、六月一八・一九の両日、同県清洲町の清洲公民館で開催された。午後六時、愛知県、岐阜県、三重県等々の各地域から代表が到着し、プログラムに添って、一泊二日のキャンプが行なわれた。

同キャンプは、本年度の本部事業の具体的な内容を討議し、共通の認識を図ることを目標に、街づくり運動や国際活動について活発な意見交換が行なわれた。友愛のある街をつくる運動については、本部の田中事務局長からこの運動の基本的なねらいとして①日常生活の基盤である地域社会に青年が目を向け、主体的に考えて行こうとする運動であり、②その地域社会を人間的な社会——友愛社会に高めようとする運動であるというものであった。

このことに関連して、今年度の本部事業について本部から説明があり、その取り組み等についての検討も行なわれた。また、今年度の友愛アジアセミナーが福井、三重などで実施されるため、そのすすめ方も合わせて協議された。セミナー受入れについては、海外青年の引受けの経験が豊富な愛知県連各支部からアドバイス等の積極的な意見が出された。

中部・近畿ブロック・キャンプは最後に、同ブロック内の組織間交流事業を具体的に討議し、また岐阜県における新組織結成に協力して行くことを確認して 閉会した。

東北ブロック

岩手県の盛岡からバスで一時間ほどの西根町・田頭公民館で七月二・三日、岩手支部（高見館国男支部長）の担当で開催された。キャンプは午後六時に開会し、各支部の活動報告をもとにした各種の問題に対する研究討議と岩手支部顧問。長沼長治郎氏の講演を中心にしてすすめられた。

支部報告では、福島支部の青葉学園訪問、秋田支部の献血などの社会福祉活動の取り組み、日常の活動回数、岩手支部から問題提起された会員の年齢層と活動のすすめ方の関係などについて活発な意見交換が行なわれた。特に〝年齢問題〟については様々な見解が出された。①青年活動は、二五才以前の若者が活動を通じ、自分達で苦労する中で学び取って行くことが重要であり、中心となる活動家もその程度の年齢の者であるべきである。②新旧指導者の交替を早く行なうことは、二〇代前半の者に力をつける上で一定の効果があるにしても、活動の質を高めることは困難である。特に友愛の目的を考えた場合は、三五才までの人が参加する価値のある活動を行なうべきである。

この議論は結論として、①二〇代前半は遊びを含めて精一杯行動することが重要な活動である、②現役活動家以外で友愛運動の本スジを示し得るリーダーが必要である。③運動の質的向上のために、活動の担い手は三〇才前後に高められるべきである、④結婚すると退会する者が多いが友受運動はむしろ、家庭を持った者によってこそ地についたものになると考えられるなどが確認された。この議論の中で、本部構成者（中常委）と支部の構成者の間に年齢層の差があり、これが運動の取り組みに対する意識の差となっているのではないかとの指摘があった。こうしたギャップがあるとすれば、中央委員会や大会の場での支部指導者たちのさらに積極的な発言が望まれることになる。

いずれにしても早い時期に会を退めれば活動もしなくなるのである。友愛運動は息の永い活動であり、永くつづけることで友愛精神を自分の内にタタキ込むことであるとされた。

東北ブロック・キャンプは最後に、同ブロック内の統一事業について話合われた。その結果、共同事業は検討課題として持ち越されたが、本部機関紙を利用した「みちのく会コーナー」を協力して作ることと支部機関紙交換の実行が約束された。また、来年のブロックキャンプ開催担当を山形県庄内支部とし、再会を誓って 閉会した。

熱心な議論がつづけられた中部・近畿ブロックキャンプ（清洲公民館で）

綱　領

一、われらは、自らの尊厳にめざめ相互の人格を尊重し健全明朗な友愛社会の実現に邁進する。
一、われらは、民主主義の健全な発展のために、全体主義を排除し、日本国民として公正な識見を確立する。
一、われらは、科学技術の振興と生産の増強をはかり健康で文化的な福祉国家の建設に挺進する。
一、われらは、全世界の人間的つながりのもとに国際連帯の意識を養い、もって世界平和と人類の福祉に寄与する。

東南アジア使節団
団員募集

主催：友愛青年連盟

あなたは〝ロンボク島〟を知っていますか？どこかで聞いたことがある、という方もいるのではありませんか。〝ロンボク海峡〟というと、多くの人が新聞紙上などで聞いて知っていることでしょう。

日本経済にとって、最も大切なオイルロードの一本として注目されている海峡です。この海峡は、インドネシアのバリ島とロンボク島の間なのです。二つの島は、だいたい同じ大きさですが、ロンボクはバリほど観光化されず、固有の文化ち自然を残しています。

今年の友愛東南アジア使節団は、ロンボク島を加えて五ヶ国・六都市を訪問し、青少年団体との交流と諸施設等の視察、関係官庁の表敬訪問などによって友好を深めようとするものです。使節団は今年で一三回目、今までに一五七名がこの団に参加して、一回の、一人の事故もなく研修して来ています。

東南アジア諸国との関係が、ますます注目されています。政治、経済を越えた人と人との交流は、将来のより良い関係の礎になります。あなたも、その一翼を担って下さい。

◇　◇

要　項

☆期日☆一〇月二六日（水）〜一一月一一日（金）・一六泊一七日間
☆訪問地☆マレーシア（ペナン）インドネシア（バリ島、ロンボク島）、シンガポール、タイ（バンコク）、香港
☆参加費☆一八万八千円（諸手続き手数料、研修会費も含む
☆参加条件☆健康で、海外での団体行動に適応し使節団員として適格な者／役員を除く団員は一八〜三五才／帰国後、研修成果をレポートとして提出し、以後本会活動に還元できる
☆申込み☆申込書、履歴書、所属組織の推せん書、健康診断書を各一通と顔写真二葉、申込み金三万円、それに作文を添えて友愛本部へ。
☆作文☆①東南アジアと日本、②私と友愛運動、③青年の国際交流の意義。一つのテーマを選び、四〇〇字原稿用紙三枚
☆締切☆九月七日（水）
☆申込み、パンフレット希望の方は本部国際部へ。

連合会準備委を
一支部二地区で

中央常任委員会は六月二二日、本部事務所での第二回会議で支部連合会設立準備委員会の構成要件と位置づけを決定した。支部連合会は「同一県内に二支部以上」ある場合に設立できるが、準備委員会については「一支部二地区」を構成要件とした。そして、準備委は、組織員から会費を集め、寄附を募り、事業を実施できることになる。

中常委ではこれにより、支部間交流や共同事業を促進し、地区の育成をすすめ、支部連合会の正式結成を促進しようとしている。

活動記録を募集

ボランティア活動の記録や研究論文の募集を、全国ボランティア活動振興センターが行なっています。今や、国民的な課題であり、一人一人の力の結集で社会福祉の諸問題を解決する基礎でもあるボランティア活動の推進のために実施されるもの。題して「第一回ボランティア文献賞」。

▲募集内容・①活動記録部門——ボランティア活動の実践の過程を記録したもの。②研究論文部門—ボランティアに関する基本問題、理念、方法等について研究したもの、または実態調査、実践をふまえ理論的にまとめたもの。▲字数は四〇〇字原稿用紙二〇〜三〇枚程度▲締め切りは八月三一日、発表は十月中旬、▲賞は両部門のそれぞれについて優秀作一編に賞状と副賞一〇万円、佳作五編に同五万円、入選作三編に同一万円が授与される▲要項ご希望の方は友愛本部へご一報下さい。あなたの支部での実践をまとめてみてはいかがですか……。

〝海外研修へ〟

本会からの第一一回 青年 の船（総理府主催）への参加者は次の二名が内定した。

班長　安楽　兼英君（東京）
団員　中津川典子さん（東京）

◇　◇

秋田県が実施する訪ソ青年の船に、秋田支部の前支部長、東海林正専君が参加、七月六日に出発しました。

◇　◇

世界青少年交流協会の海外派遣には、

▽イギリス班へ石嶺芳子さん。彼女は、昨年末の第二回友愛英語弁論大会の優勝者です。
▽ドイツ定期へ丹羽功蔵君、愛知県連からの推せんです。

安全は、人とクルマでつくるもの。
日産自動車
人とクルマの明日をめざす
NISSAN

〈ソフトバイク〉の時代です。パッソルは
腰かけて乗れる、やさしい乗りもの。

行動範囲がグーンと広がってきているいま、やさしい乗りもの…パッソルがあると、とっても便利。ご家庭の誰からも愛され、簡単にお乗りいただけるバイクです。自由な服装で、腰かけて乗れるステップスルー式。エンジンとチェーンはカバーしてあるため、衣服が汚れず、安全です。〈ソフトバイク〉と呼んでください。〈優しさ〉と〈易しさ〉———2つのやさしさをカタチにしました。ショッピングや通勤・通学、ときには気ままなお散歩へ。パッソルは、いつもあなたと一緒です。

ソフトバイク
YAMAHA
パッソル

ヤマハ パッソルS50　標準現金価格￥69,800
●長さ1,515mm×高さ925mm●シート高680mm●車両重量=45kg●エンジン=2サイクル・49cc 2.3馬力●燃費=75km/ℓ（30km/h定地走行テスト値）●ガソリンタンク容量=2.3ℓ

やさしい手続き　手続きかんたん
やさしい手ほどき　支払いらくらく
ヤマハ原付免許教室　ヤマハらくらくクレジット

ヤマハ原付免許教室・ヤマハクレジットについてのお問い合わせはヤマハ販売店へ。
ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383(2)1111

やさしいから
好きです。

●ヘルメットをかぶりましょう●定期点検をうけましょう

活動の障害

―名称・目標・活動・交流―

新津支部から、次のような手紙がとどいた。活動の障害となっていることとして三点を上げている。いずれも、本会活動をすすめるにあたり、理解しておかなければならない基本となる事である。

第一に名称ですが「友愛青年連盟新津支部」――知らない人は名称を聞いただけで寄りつかなくなってしまうのです。もう少し親しみやすい名称を考えたらどうでしょうか。第二に、一般に、若者のサークルというのは一つの目的に向かって自他共に励むというものだと思うのですが、友愛の場合は相互尊重、相互理解、相互扶助といった漠然とした目標だけでいざ何かしょうと思う時に、あまりに大きすぎる問題に呆然として何も進まないのです。もっと的をしぼって、これがこの会の特徴、これだけは会員が共通して考えていることだと言える物を決めたらどうでしょう。

第三に、友愛は全国に組織があるのに他の支部と接する機会が少なくさみしいことだと思います。友愛ならもっと多くの未知な人達とふれあう事が大切だと思います。今のままなら友愛ではなく新津の一サークルとなり、新潟のサークル同盟の様な所へ加盟した方が地域的には役立つのではないかと思います。

名称

友愛という名、友愛新津支部という名称はそんなに敬遠されますか？「友愛」の名に引かれて入会した人も多いようですが……。「友愛青年連盟〇〇支部」がフルネームですが、秋田支部のように、略称としての「友愛秋田」を一般に使うようにし、パンフレット等にも印刷するのも良い考えです。

本会は支部名称に、地域名を入れるのを原則としています。これは本会が、全国組織であることを示すことにもなっています。東京には「友愛むつみ支部」という例外もありますが、東京の支部には一都三県にまたがって会員がいる例にも見られる広域性と地域性の希薄さがあり、特殊事情によるものと言えましょう。現在、支部にとってより重要なのは、名称ではなく目標や活動の問題でしょう。

目標・活動

本会には、友愛精神を基調とする友愛社会を建設するという、明確な目的があることを確認して下さい。そのためにはまず、リーフレット「ゆうあい」にじっくり目を通すこと、そして「理論と実践」を三回は読み返してみる。これだけの学習は本会のリーダーの、最底の義務です。リーダーがその組織の目的を充分に理解し、会員に説くことができなければ、メンバーは混乱し組織は崩壊してしまいます。

本会の目的を知れば知るほど、「あまりに大きすぎる」と思うことはあるでしょう。友愛運動の目ざすものは人間革命であり、それは人々の不断の努力によってのみ達成されたものです。この運動の中で最も重要な活動が友愛精神の普及にある通り、相互尊重・相互理解・相互扶助の友愛精神を自分のものにし、あわせてより多くの人のものに広めて行くことが、我々の目的であり使命です。大変、大きな目的であることはたしかです。

「目的は大きく、目標は具体的に」するのが、組織発展の基本です。逆に、目的を具体的なものにしぼることは、一見してわかりやすい会にはなるでしょうが、活動の幅も限定され、参加者も特定されてしまい、組織も小さくなります。これは、一人でも多くの参加と永続的な努力を生み出す源になろうとする本会の方向に、逆行するものにしかなりません。

目的と手段、目標を区別した上で、「目標を具体的に」しぼるべきです。本会が取り組む広範な活動の中から、それぞれの支部が実情に合わせて活動内容を限定することは、活動を充実させるために必要なことです。本会の目的と全国大会で決定されたその年の方針にそって、支部の具体的な目標と活動を決めるのは、支部に参加している会員です。だれかから与えてもらうのではなく、自分達で選び決めなければ、参加していることにはなりません。自ら考え、自ら決し、自ら行動するのが、青年運動です。

交流

友愛の全国の仲間との交流がなければ、全国組織の価値は半減してしまうという指摘は、その通りですね。日頃、それぞれ別の地域で活動する同志と語り合い、励まし合い、学び合ってこそ、友愛の力は増して行くのです。

そのような場はすでに、いくつか実践されています。一つは支部交換会です。小樽と登別、福島と宇都宮と品川、愛知と三重、その他いくつもの支部が、年に一回から数回の機会を作っています。会員の間に、他支部との交流の要求が強ければ強いほど、支部交換会そして本部事業の全国活動研究会ブロック・キャンプの意義は増して来ます。これらの機会を自ら作り、またあるものは大いに活用したいものです。

こうした友愛内での交流とは別に、県や市のサークル同盟、青団連への加盟は、大いにすすめたい事です。より多くの人達と接する機会も活動を盛り上げる情報や活動も得られるでしょう。さらに、友愛精神をより多くの人々に理解してもらう場にもなります。

そして、もっと大切なことは、我々が今、全力を傾けている「友愛のある街をつくる運動」は、地域に根ざす活動がなければすすめられない運動だという点です。地域の人々、地域の青年との結びつきが、この運動をささえる大きな力となるのです。

（本部・田中恭一）

白老からこんにちは！

登別支部の野地君から〝短信〟とともにワラ判紙にガリ刷りしたものが四枚送られて来ました。タイトルは「ゆうあい・白老からこんにちは！」。へんしゅう者、ヨーヤンこと和田洋子さんの第一号（六月一日）から第四号（六月二二日）でした。そう、週刊紙なのです。登別支部の「広報活動の強化」を、まず自ら実践する姿に感動します。そして、毎週発行するという行動力に感激しました。

内容は、和田さんが昨年参加した青年の船の体験記を中心に、チョッとした便り、町の話題そして「私もはじめてわかったのコーナー」ではオルガナイザーやスーパーバイザーなどの指導者の機能別の分類について書いてあります。

青年の船の体験記は、第一話ヨーヤン事前研修に参加。たった一人の旅に心ぞうドキドキ！に始まります。静岡県御殿場の研修会場へのはじめての夜行列車での長い一人旅、そして研修の様子などが生き生きと書かれていて、続編が楽しみです。

時々に本紙でも、白老から……の内容を紹介したいと思います。

ヨーヤン、ガンバレ！

（本部田中・記）

〝無念の逆転負け〟

小樽支部では五月一五日、市内のサークル鍵の会とソフトボール大会を開催しました。ピッチャーとライトは女性、そのライトへ打つとアウトという変わったルールでした。最終回の七回表まで勝っていた友愛でしたが、無念、逆転サヨナラ負けに。次の試合には勝つぞ！（事務局福岡誠・記）

〝短信のぼりべつ〟

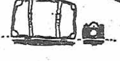
今年の重点目標は友愛のある街づくりと仲間づくりです。ただ、会員の半数が近郷の室蘭、苫小牧、白老に分散しているため、実践活動が思うにまでせません。今年度はまず、広報活動に力を入れる方針であります。

しばらくは休刊していた「友愛のぼりべつ」（機関紙）を毎月二五日に発、秋には文集「ゆうあい」二号を発行する予定です。

（事務局野地・記）

どくとるジュール旅行記

西村実



第一三回

日本人の車好きは有名だが、イタリヤ人も大好きである。たいして金持でもないのに車が好きなところはよく似ている。運転技術も似ていて「カミカゼ・タクシー」はいまローマが本場だ。

見ていると交差点の赤信号でも平気で走って行く。聞くと、青信号では「スピードをあげて進め」黄では「そのまま進め」赤では「注意して進め」タクシー会社が指導しているとのことである。

ローマに着いた日、一行はバスの中で何時間も待たされた。イライラして聞くとローマに通ずる道がすべて車車車のジュウタイでさっぱり進まないのだそうだ。信号が何色にでわろうと、みんな「ススメ、ススメ」と走って行くのであれば、ジュウタイするのは当然のことであると、やっと話がわかって、イライラがなおった。ものは考えようだ。

団長はローマの交通事情をつぶさに見て、ローマ滞在中は、バス会社と契約するのをあきらめた。こんなことではスケジュールにある見学予定地を全部こなすのに二ヵ月位かかるノデハナイカ、と思ったからである。そして団員には車のでわりに歩くことを命じたノダ。

朝食が終ると団長はホテルの前に団員を集めて、今日のスケジュールを説明し、地図を片手に歩きだした。はじめはみんな珍らしいのであとをついてきたが、歩いても歩いても石のごろごろした廃墟ばかり。それに団員たちの西洋史の知識など皆無にヒトシイとあっては、何のためにローマにきたのだ、とブツブツ言うようになった。

団長も年なので歩いてばかりいられない。身体のあちこちがズキズキするようになると、団長はホテルで寝ころんでいて、団員だけを歩かせる方法を考えた。それは会員を三人か四人の小さなグループにわけ、それぞれ「自由」にローマの街を見学してきなさい、とニコヤカに送り出したノダ。

自由のすきな団員は喜んで出かけ、団長は久しぶりにローマの休日を楽しんだ――ローマのバーを楽しんだと書くべきか――そしてそろそろ子羊どもの帰るころだとほろ酔い気分で、夕やみせまるホテルの前に立つと、例の千葉県は、飯岡の生まれ助郷みさ子がしょんぼりと今にも泣き出しそうな顔をして、

「ダンチョウ」

と呼びかけてきた。

あの気の強い女がこれはまたどうしたことか、顔をのぞきこむとワッとばかり泣き出してしまった。こんなところで女を泣かせているところを誰かに見られてはまマズイと、例によって気の小さい団長は、彼女をホテルのロビーのすみの方につれていった。

そしておもむろにハンカチを出して涙をぬぐうように言ってから

「どうしたのですか」

とローマの青ひげのような声で聞いたノダ。

（つづく）

尾道友愛山荘

中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三階建の快適な宿泊施設をほこり、太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内
尾道友愛山荘　TEL　尾道（0848）（22）5554
所長　高橋最宜

（ユースホステルの規則に従っています）
宿泊料金【1泊2食】
友愛会員1700円・YH会員1900円・一般2400円

友愛山荘

軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは、若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久間軽井沢町1608
軽井沢友愛山荘　TEL軽井沢（02674）（2）2477
ペアレント　三浦満

軽井沢友愛山荘

磐梯友愛山荘

磐梯朝日国立公園の恵まれた景観の中に建って、東洋一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

福島県耶麻郡猪苗代町字葉山
磐梯友愛山荘　TEL　猪苗代（02426）（2）3424
ペアレント　卯月研造

問合せ　財団法人　日本友愛青年協会
東京都文京区音羽1－7－1　TEL（03）（941）2801

美しさにまごころこめて……
メナード化粧品
中山仁
肌にすりこめ、香りをこめて!!
ADAMS
すぐれた男には主張がある
メナード　アダムス　男性化粧品〈全8種〉
そこには　静かに
男の香りが　漂う――
これから訪れようとする
相手のことを考えながら
期待と自信が
次第に広がって行く
男は　始めの印象に
自分を賭けなければならない
肌にすりこめ、香りをこめて!!
メナード・アダムスオーデトワレ
●メナードは美容社員があなたの鏡台までお届けします。

TV提供●〈家族そろって歌合戦〉毎週(日)昼1：15～2：25 TBSほか全国ネット